

●《2日目》 2019年9月29日(日) 12:30~17:00 (12:00開場)  
会場 ドーンセンター1F パフォーマンススペース



## 1部 シンポジウム 「いつも心に赤い鼻を クラウンの魅力と可能性」

ヘルスケア分野で活動するクラウンの活動紹介と志を話してもらい、ヘルスケアクラウンの  
魅力と可能性 そして、療養環境について考えるシンポジウム

### ① 「いつも心に赤鼻を ~クラウン トンちゃんのあゆみ」

トンちゃん一座  
座長 石井 裕子 氏

クラウントンちゃんが体験した、赤い鼻との出会いによって自分自身にも  
たらされた変化や気づき。そして人生を心豊かに過ごすためのトンちゃん  
流コミュニケーションのい、ろ、は、をお話します。



2000年にアメリカのクラウンキャンプにてケアリングクラウンを受講。その奥深さに興味を持ち、その後パッチアダムスワークショップやヨーロッパでさまざまな研修を受ける。愛と笑いが心の癒しとなるための実践活動をケアリングクラウントンちゃん一座で活躍中。定年後の2組の夫婦、たった4名の熟年ケアリングクラウンとして、日本中に笑顔と元気を届けている。認定NPO法人日本クリニックラウン協会理事・トレーナー。

### ② 「涙も笑いも、力になる ~院内学級の子どもたちと“赤はなの先生”」

昭和大学大学院保健医療学研究科  
准教授 副島 賢和 氏

院内学級の先生として入院中の子どもたちと向き合ってきた体験を通して、大切だと思うこと。そして、なぜ赤い鼻をつけようとおもったのか、赤はなの先生が考えるクラウンの魅力について語ります。



東京都立小学校教諭として25年間勤務。内06~13年品川区立清水台小学校「昭和大学病院内さいかち学級」担任。2014年4月より現職「昭和大学病院内学級」を担当。学校心理士スーパーバイザー。日本育療学会理事 NPO 法人元気プログラム理事。北海道・横浜こどもホスピスプロジェクト応援アンバサダー。TSURUMI こどもホスピスアドバイザー。

### ③ 「クラウンの魅力と可能性 ~RONE & Gigi が伝えたいこと」

クラウン劇団 OPEN SESAME  
主宰 高野 呂音 氏 / 有間 千 氏

クラウン劇団 OPEN SESAME として、RONE & Gigi のステージを行いながら、日本で唯一の生涯学習型クラウン・スクールを運営し講師を務めるなど、広くクラウンを学ぶ機会をつくり、幅広い分野で活躍し、クラウンの可能性を追求。クラウンの魅力とその可能性について語ります。



1990年クラウンカレッジ・ジャパン卒業後、さらなるクラウンの演劇的表現を求めて旧ソ連最後のモスクワに渡る。現ウクライナ国立サーカス・クラウン大学、およびモスクワ芸術座のオレグ・タコフに学ぶ。イギリスのノラ・レイの秘蔵っ子。海外では「クラウン文化のない国から来て笑いの旋風を起こす凄いコンビ」と絶賛される。豊かなキャラクター性と演劇性、そして、どんな垣根も軽々と越えるベースや表現力は、各国のアーティスト達に衝撃と影響を与え続けている。ウィスコンシン大学クラウンプログラム常任講師。クラウン劇団 OPEN SESAME と附属クラウンスクールを主宰。

## 2部 団体紹介

### ① 認定 NPO 法人 日本クリニックラウン協会 クリニックラウン 川島 由衣 氏



「すべてのこどもにこども時間  
~クリニックラウンの活動報告」

クリニックラウンとしての入院中のこども達や家族と関わってきた体験を通して、入院中のこどもたちの療養環境の向上を考えた中で大切だと感じたことを事例を交えてお話します。

大阪芸術大学舞台芸術学科ミュージカルコースで、舞台の基礎を学び、関西を中心に舞台役者として活動。2009年劇団カッパ座の本公演のメンバーとして全国ツアーに参加。2014年クリニックラウンの選考会に挑戦し、1年間の養成課程を経て、2015年にクリニックラウンの認定を受ける。現在は、全国各地の小児病棟を訪問。2016年からは事務局スタッフとしても携わり、病院訪問だけでなく、東北支援事業や、クリニックラウン養成事業を担当している。

### ② Clown One Japan (クラウン ワン ジャパン) 代表 金本 麻理子 氏



「心と心の距離をつなぐ赤い鼻」

福祉・医療の現場で活動するクラウンアンバサダーの活動紹介と共に、映画「パッチ・アダムス」のモデルとなったドクターパッチ・アダムス氏に出会ったのが16年前。パッチは「赤鼻は誰とでも仲良くなれる一番の近道」と教えてくれました。パッチや世界中のクラウン、そしてクラウンツアーで出会った人達から教えてもらった”人生をより良く生きていくための大切なヒント”をお伝えします。

私立幼稚園教諭18年、在宅訪問看護師10年、を経て現在はケアリングコーチとして医療・福祉従事者、教育者を中心にサポートしている。映画「パッチ・アダムス」のモデルとなった Dr パッチに出会い、世界中から集まったクラウンと共に2003年からロシア、チベットなどの施設や病院などをクラウンとして訪問。現在 Clown one Japan というクラウングループの代表を務め、全国の高齢者施設や被災地などを訪問するとともに「医療・介護の現場で活躍するクラウンアンバサダー」の育成に努める。

### ③ NPO 法人 日本ケアリングクラウン協会 理事長 吉長 孝衛 氏



「ケアの最初は家族、仲間から、そして何より自分から」  
ケアリングクラウンとして広島街づくりや人づくりに貢献している実践を通して、人とのつながりの大切さや地域に根ざした活動についてお話します。

東洋大学法学部経営法学科卒業。米国ウィスコンシン州ラクロス大学「クラウン・キャンプ」講座履修。酒屋「株式会社 吉長」経営。「シャンピー・ハルーンチーム」を広島と松山で主宰。NHK文化センターなどで「風船ボランティア」「水引細工講座」などを担当。NPO 法人「日本ケアリングクラウン協会」の代表を務める。「ケアリング・クラウン」の時間は、「ケア」の必要な人の所に出かけて、非日常な「トリック・スター」クラウンが作り出す時間の演出。「ケアしたつもりが、ケアされている毎日」・「今日が一番いい日」



認定 NPO 法人

日本クリニックラウン協会

〒530-0053 大阪市北区末広町 3-11 天しもビル 3B

TEL 06-4792-8716 FAX 06-4792-8746

info@cliniclowns.jp

http://www.cliniclowns.jp